

第50回

日本医学放射線学会秋季臨床大会  
イメージインタープリテーション

症例

【症例】 60歳代 男性

【主訴】 右背部腫瘍および疼痛

【現病歴】 3年前のCTで右背部腫瘍を指摘された。  
経時的に増大したため摘出目的で入院となった。

【既往歴】 14年前：喉頭癌（cT1N0M0）放射線治療  
9年前：肺癌（pT3N0M0）  
右肺下葉切除・心膜合併切除

【身体所見】 右肩甲下に弾性軟な腫瘍を触知

【検査所見】

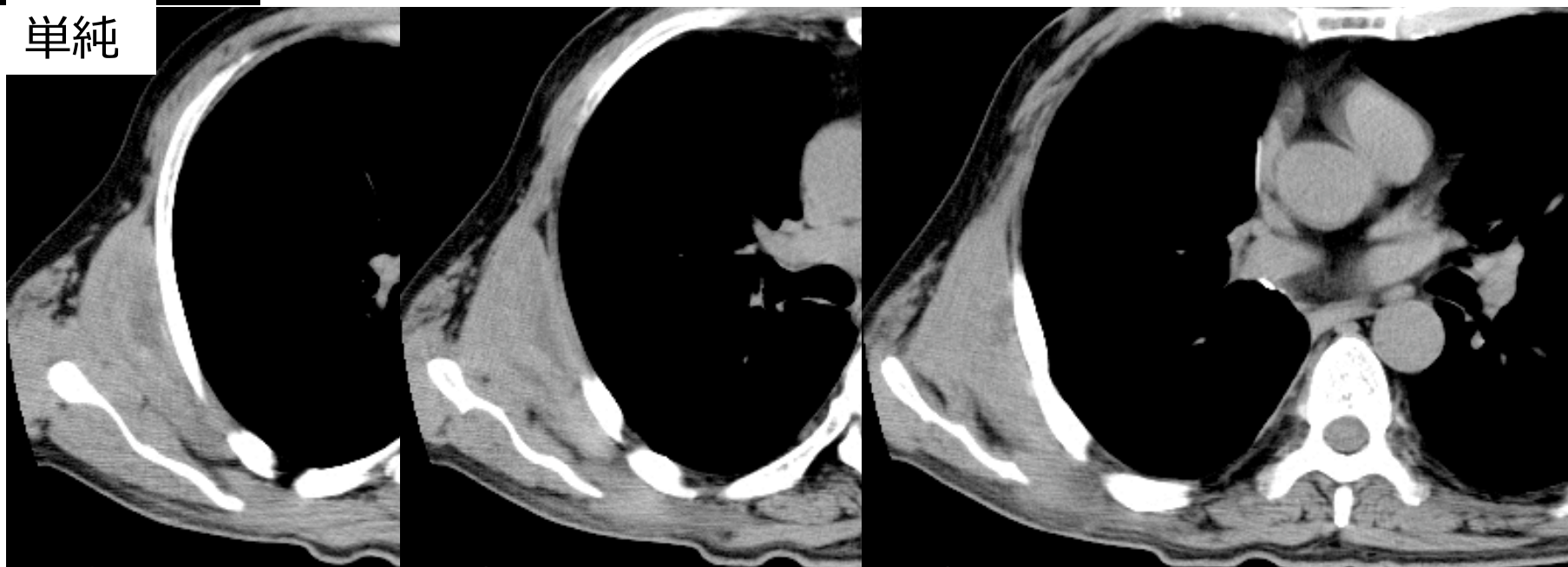
血算・肝機能・腎機能・凝固能に異常なし

CEA 2ng/ml SCC <1ng/ml CYFRA 2.4ng/ml

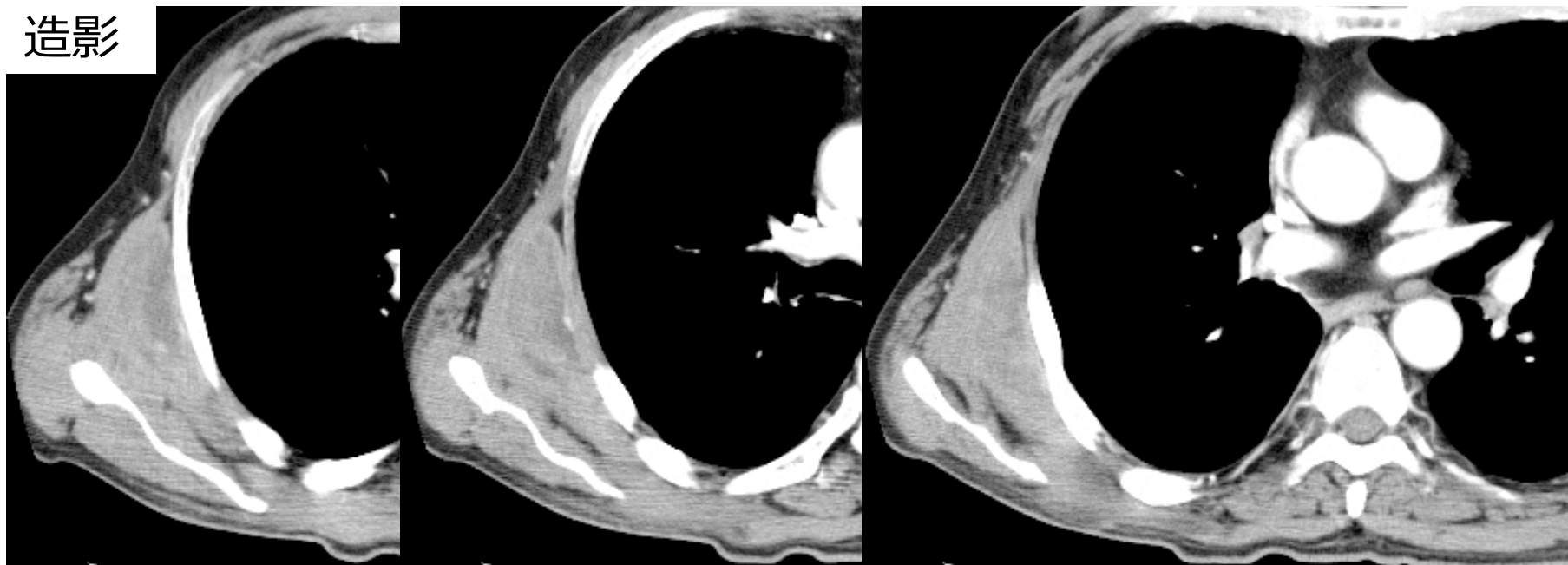
SLX 33U/ml CA19-9 13U/ml

# 入院時CT

単純

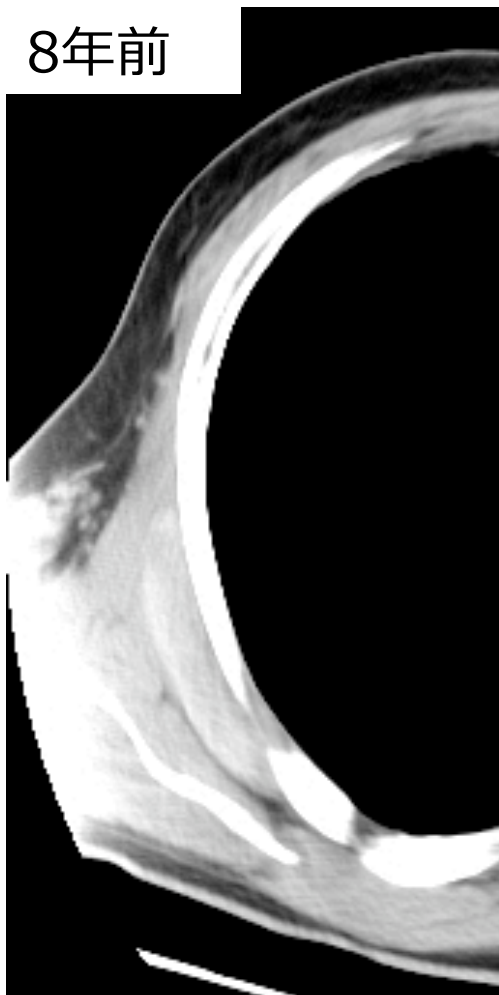


造影



## 単純CTの経時変化

8年前



3年前

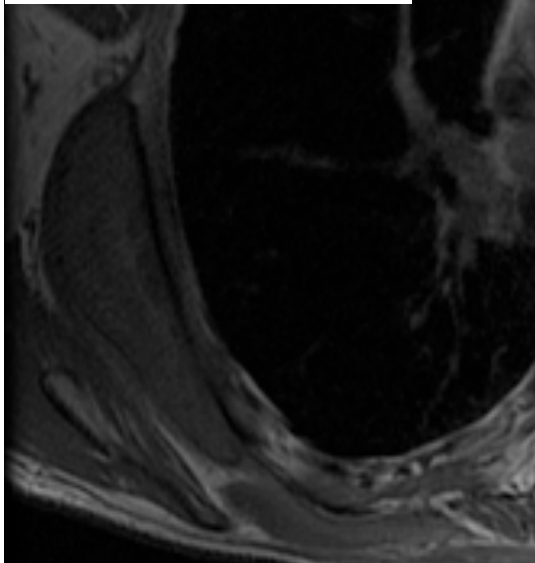


入院時

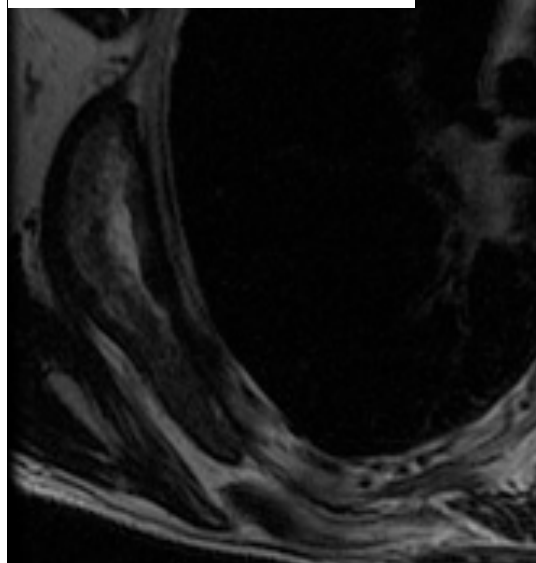


# 入院時MRI

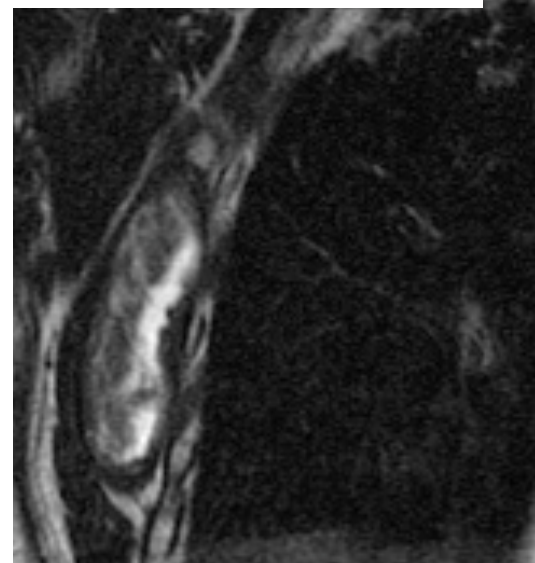
T1W.I.横断像



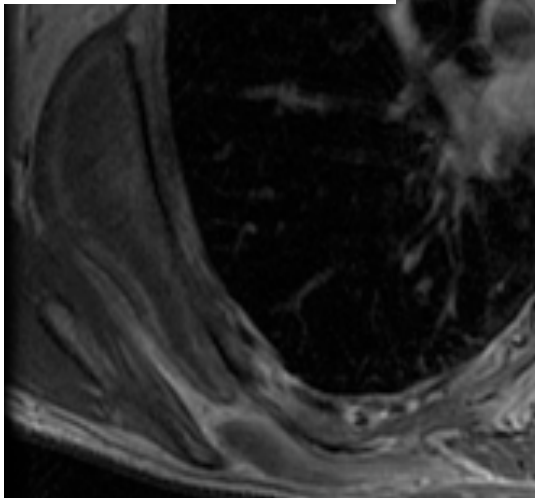
T2W.I.横断像



T2W.I.冠状断像



造影後  
T1W.I.横断像



造影後脂肪抑制  
T1W.I.横断像

